

会 議 要 旨

会 議 名	令和4年度 第2回館山市社会教育委員会議
開 催 日	令和5年2月7日(火) 午前10時00分から
開催場所	館山市コミュニティセンター2階 第2学習室
出 席 者	社会教育委員11名、教育長、教育部長、事務局6名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	随時
傍 聴 者	0名

【会議概要・結果等】

1. 開会

2. 教育部長あいさつ

本日はご多用の中、館山市社会教育委員会議にご出席を賜り感謝申し上げます。委員の皆様には、日頃より館山市の社会教育の振興に多大なるご尽力いただき感謝申し上げます。

2月4日に第57回安房地区社会教育振興大会が千葉県南総文化ホールで開催された。参加された委員の皆様、役員の皆様に感謝申し上げます。その中で「早寝・早起き・朝ごはん」運動の教育講演があった。今回、講師の方が本運動を推進された方であり、具体的な話を伺うことができ、非常に重要なことだと再認識させられた。今回の講演内容を今後の社会教育に活かしていきたいと考えている。

この後、社会教育担当課長・館長から、今年度の館山市の社会教育・社会体育に関する実施状況の説明を申し上げます。委員の皆様のお知恵をいただき、館山市の社会教育がより充実したものとなるよう、ご意見を賜りたい。

3. 議事

(1) 令和4年度社会教育・社会体育実施事業報告について

生涯学習課、博物館、図書館、中央公民館、スポーツ課より令和4年度実施事業について報告。

その後、質疑、意見交換

(2) その他

4. 閉会

【質疑応答・意見等】

(委員) 1点目。成人式に元学校管理職として出席した。今年から実行委員会形式となったが、とても良い式で、保護者からも好評であった。例えば、学校で生徒会を動かすとなると、教員が行うのと比べて2倍の労力がかかる。担当課や職員は、例年よりもまして尽力していただいたことに対して敬意を表す。

2点目。幼稚園がこども園になると、PTA組織が無くなってしまわないか、という危惧する声を聞いたが、本当か。その場合、家庭教育学級を取り仕切る方がいなくなってしまうのではないかと話も聞いた。こども園になった場合、どのような体制になるのか教えていただきたい。

3点目。国の動きとして、中学校の部活動の地域移行が現実化している。現時点では学校教育として行われているが、これからは社会体育へ移行してくる。部活動の地域移行の今後の動きを教えてください。

(中央公民館回答) 現在、こども園では家庭教育学級は開催されていない。こども園になったから無くなった、ということではなく、こども園に保育園の園児がいるが幼稚園の園児がいなくなったため、学級が開催されなくなったことが理由である。こども園になったことが直接的な理由ではない。ただ

し、担当課としては、こども園でも学級を開催していただけるような行動を今後起こしていきたいと考えている。

(委員) 以前、小学校や幼稚園の管理職を務めたが、PTAに来てほしい家庭があまり来ない。保護者に学校側の考えや時代に合った家庭教育の考えを伝えるために、学校だよりや園だよりには掲載するが、なかなか生の声を聞く機会がない。ぜひそのような場を作っていただければありがたい。

(スポーツ課回答) 運動部活動の地域移行は、現在の動きとしては、教育総務課や関係各課との情報共有を図っている。今後としては、受け皿となる団体として館山市スポーツ少年団や館山市スポーツ協会、総合型ファミリースポーツクラブわかしお等が想定される。それらの団体に情報提供をしながら、検討をしていきたいと考えている。

(委員) 小学校から中学校へ進学する生徒にとって、部活動入部は中学校の魅力の大きな部分を占めている。平日は学校の活動として行うが、休日の部活動が社会体育活動となったときに、価値観や考え方が部活動を任されている団体や指導者によって、生徒の熱意が向上してくれると良いが、それによって減退してしまうようでは、本来の目的からずれてしまう。丁寧な対応をしてくれるようお願いしたい。

(委員) 博物館の来館者数の増加等の成果が出ているのは、指定管理の効果や地道な努力による効果という説明があった。詳しい内容を聞きたい。

部活動の地域移行についての動向や課題を考えている。館山市の地域移行の計画はできているのか。また、どこが主導で行うのか。もうすぐ始まることなので、具体的な状況を聞きたい。

(教育長回答) 国の方向性としては、土日の部活動を地域移行することは間違いない。だが、課題が多すぎて、移行する年度が少しずつ遅れつつある。館山市としては、当初は令和5年度に市内で1つ、令和6年度に各校で1つ、令和7年度には、すべての部活動を地域移行できるよう準備する予定だったが、その計画もずれてきている。委員の発言どおり、様々な課題が発生している。各方面から、時期尚早ではないかという声もあり、教育長会でも慎重に進めていきたい。1番大事にしたいのは子ども、次に学校現場である。本来は教員の働き方改革が目的だが、実際は学校現場に負担が増える。館山市スポーツ少年団、館山市スポーツ協会、総合型ファミリースポーツクラブわかしお、館山市スポーツ審議会等の主要な団体には、国の方向性をお伝えしている。市で詳細な計画を作って、国の方針の変更で修正する方法だと、余計に混乱を招くため、国の方向性を見極めながら、随時、大きな柱をお伝えしていく中で、検討していきたい。

(委員) 保護者の立場としては、土日の部活動は送り迎えが必要なのでこの部活は諦める、というように、子どもの選択肢が狭められることがないようにしてほしい。

(教育長回答) 子どもの視点でどのようにしたら良いかを検討していきたい。

(博物館回答) 博物館の努力としては、学芸員による丁寧な資料収集がある。テレビ取材への貸し出しもある。様々な場所に資料が露出することで、来館者の増加にも繋がる。館内で展示についての利用者アンケートを行っている。毎回50通程度頂く。おもしろかったという意見は、資料収集の結果だと考える。また、指定管理者は館山城の運営や博物館の受付、城山公園全体の管理をしている。市が依頼しない自主事業も行っており、より多くの方に来てもらうようにしている。現在は、館山城2階で博物館資料の浮世絵を展示し、浮世絵のファンを呼び込んでいる。館山城40周年にあわせて、戦隊ショー等の子ども向けイベントや千葉大学との連携事業である「目で楽しむ南総里見八犬伝」、八犬伝と歴史や自然について学ぶ謎解きゲームを実施した。子ども向けイベントには500～1,000人、謎解きゲームには4,000～5,000人の来場者があった。

(委員) 先日、若潮マラソンの私設エイドで、スポーツドリンクやティッシュの配布を行っていた。ボランティアが行う私設エイドは、何カ所程度設置されているのか。

(スポーツ課回答) 公設エイドは5～10kmの間に設置し、全部で9カ所ある。私設エイドについ

ては把握していないが、ランナーからは人気であり、それが若潮マラソンの高評価にも繋がっている。

(委員) 電子図書は非常に便利だが、従来の紙の本も大事である。限られた予算の中で、どのような比率になるのか。また、コロナ禍が終息したとして、将来的にはどのようなバランスにするのか。

(図書館回答) 紙の本は買い取りである。電子図書は契約している会社の許可で、利用回数や年数で期限満了するものや、永年使えるもの等様々な形態がある。電子図書は期限満了もあるので、数の増減がある。コロナ禍が終息した場合も、電子図書は図書館に返却する手間がなく、需要はあると思われる。電子図書の利用講座も高齢者が多く参加した。令和4年度の予算は、紙の本は200万円、電子図書は新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付を利用し、250万円という比率であった。

(委員) 地区公民館の施設維持が課題と言っていたが、利用率はどうか。既にたくさん使われているか、またはもっと使ってもらえるようにする方策を考えた方が良いのか。自分が講師となる講座は、自分の勤務先が持っている施設を使うが、地区公民館で実施することも考えた方が良いのか。

(中央公民館回答) 地区公民館はどの施設も老朽化しているが、小学校区ごとに設置されており、地区のコミュニティ形成のための施設にもなっているため、今の施設を可能な限り使っていきたい。そのため、施設の補修については早期着手をしている。公民館に限らず、館山市の公共施設は個別施設計画で統廃合または代替施設の使用の方針もあるが、施設の状況を見て判断していきたいが、その先については未定である。地区公民館の講座は、正副館長と書記で計画しており、各地区10数回程度実施している。地区公民館から要望があれば講座を実施したいが、地区公民館事業の性質上、高齢者対象の講座が中心である。実施日時も平日の昼間で土日は実施していないので、小中学生を集めるのは難しい。もし、地区公民館が小中学生を対象とする講座を実施するという希望があれば、中央公民館としても協力する。

(委員) 地区公民館はそれぞれの地区ごとに独自に運営しているということか。

(中央公民館回答) そのとおりである。地区の方が運営をしている。

(委員) 城山公園の美化活動を行っている。朝、保護者が送迎のため駐車場に車を停めているが、駐車時間が長いように感じる。長時間エンジンをかけており、個人でエンジンを停止してもらおうよう呼びかけている。せめて短時間の駐車になるよう、学校等で呼びかけてもらいたい。

以上